

# 主要な課題等 参考資料

〔人づくり・暮らし政策研究会〕

令和元年 9 月 9 日  
山形県総合政策審議会

# 目 次

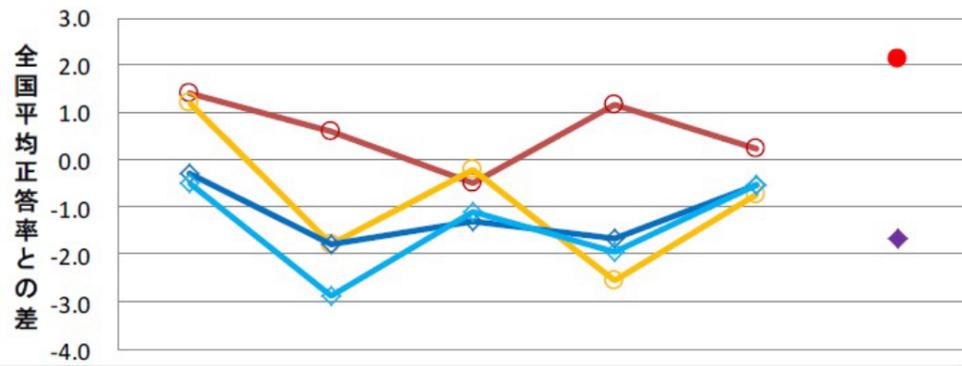
1 (2) 学校教育の充実 関連	1
学力の状況	
「勉強は好き」「授業の内容はよく分かる」と回答した割合	
教育の情報化の状況	
一定程度以上の英語力を有する生徒・教員の割合	
ふるさと教育の取組み	
県内大学等在学者数	
専門職大学の設置に向けた検討	
1 (2) 生涯を通じた多様な学びの機会の提供 関連	3
リカレント教育に関する県内企業・個人に対する意識調査	
過去一年間に職業訓練・啓発を行った人数と割合（有業者）	
公民館等で開催されている各種事業・講座等への参加人数	
成人を対象とした学習事業（学級・講座）の推移	
1 (3) 若者の定着・回帰の促進 関連	4
社会増減の状況	
大学進学等の状況	
高校生の進学先検討時の重視項目	
高校生が進学検討の際、知りたかったこと	
高校生の就職状況	
大学生の就職状況	
大学生が就職希望企業を選択するポイント	
県内就職に関する意識	
2 (1) 総合的な少子化対策の新展開 関連	7
出生数及び合計特殊出生率の推移	
「理想とすることどもの数」と「持つつもりの子どもの数」	
「子育てしやすい環境づくりに必要なこと」	
有配偶率の推移	
平均初婚年齢の推移	
未婚者が独身にとどまっている理由	
育児休業取得率の推移	
第一子出産前後の女性の就業継続率	
男性の育児休業取得率が低い理由	
(参考) 人口推計（総人口の推移、将来見通し、地域別人口推計、市部・町村部別推計）	10

# 1 (1) 学校教育の充実

## ●学力等の状況

(学力の状況)

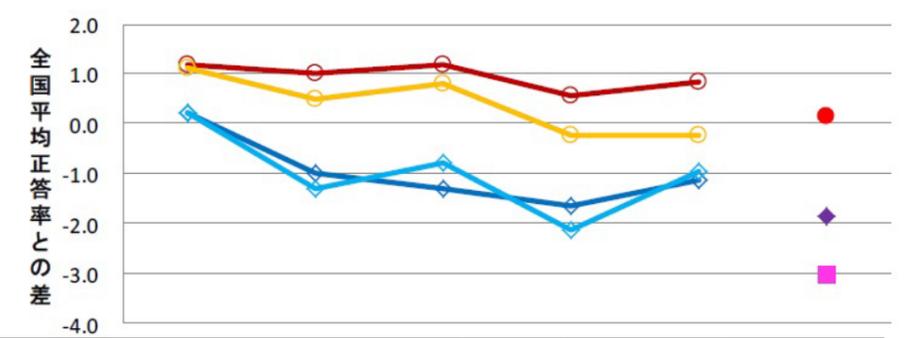
### 全国学力調査(小学6年)経年比較



	H26	H27	H28	H29	H30	H31
国語●						1.7~2.6
国語A○	1.4	0.6	-0.5	0.7~1.6	-0.2~0.7	
国語B○	1.2	-1.8	-0.2	-3.0~-2.1	-1.2~-0.3	
算数◆						-2.1~-1.2
算数A◇	-0.3	-1.8	-1.3	-2.1~-1.2	-1.0~-0.1	
算数B◇	-0.5	-2.9	-1.1	-2.4~-1.5	-1.0~-0.1	

※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中心としています。

### 全国学力調査(中学3年)経年比較



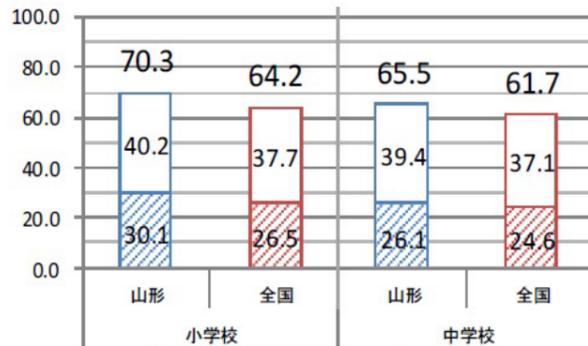
	H26	H27	H28	H29	H30	H31
国語●						-0.3~0.6
国語A○	1.2	1.0	1.2	0.1~1.0	0.4~1.3	
国語B○	1.1	0.5	0.8	-0.7~0.2	-0.7~0.2	
数学◆						-2.3~-1.4
数学A◇	0.2	-1.0	-1.3	-2.1~-1.2	-1.6~-0.7	
数学B◇	0.2	-1.3	-0.8	-2.6~-1.7	-1.4~-0.5	
英語■						-3.5~-2.6

※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中心としています。

【出典】平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果について(山形県教育庁)

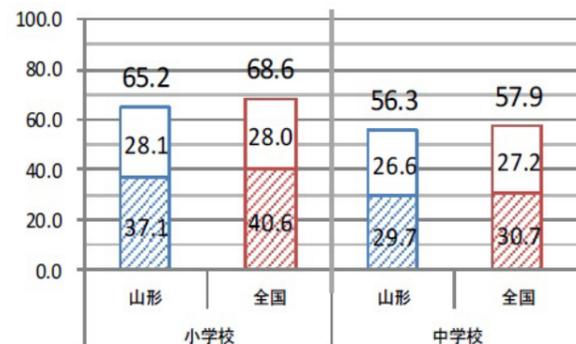
## (「勉強は好き」「授業の内容はよく分かる」と回答した割合)(山形県・全国)

国語の勉強は好きだ



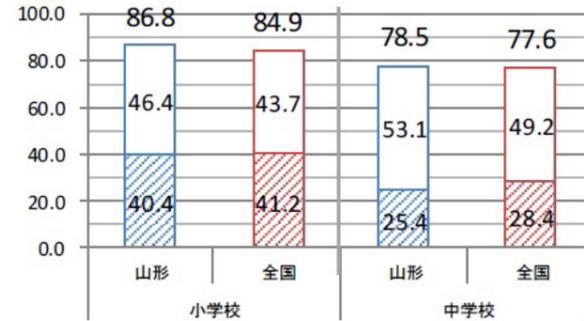
【H29調査(山形)小 67.6 中 63.0】

算数・数学の勉強は好きだ



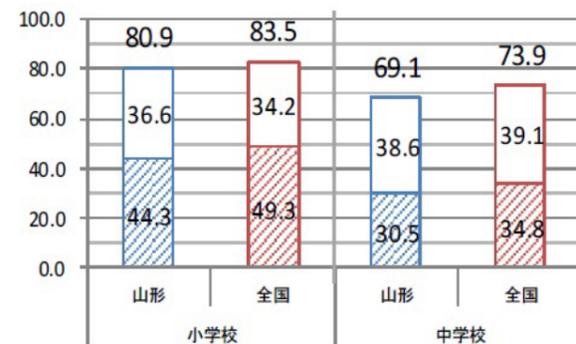
【H30調査(山形)小 62.0 中 52.9】

国語の授業の内容はよく分かる



【H29調査(山形)小 83.2 中 73.7】

算数・数学の授業の内容はよく分かる

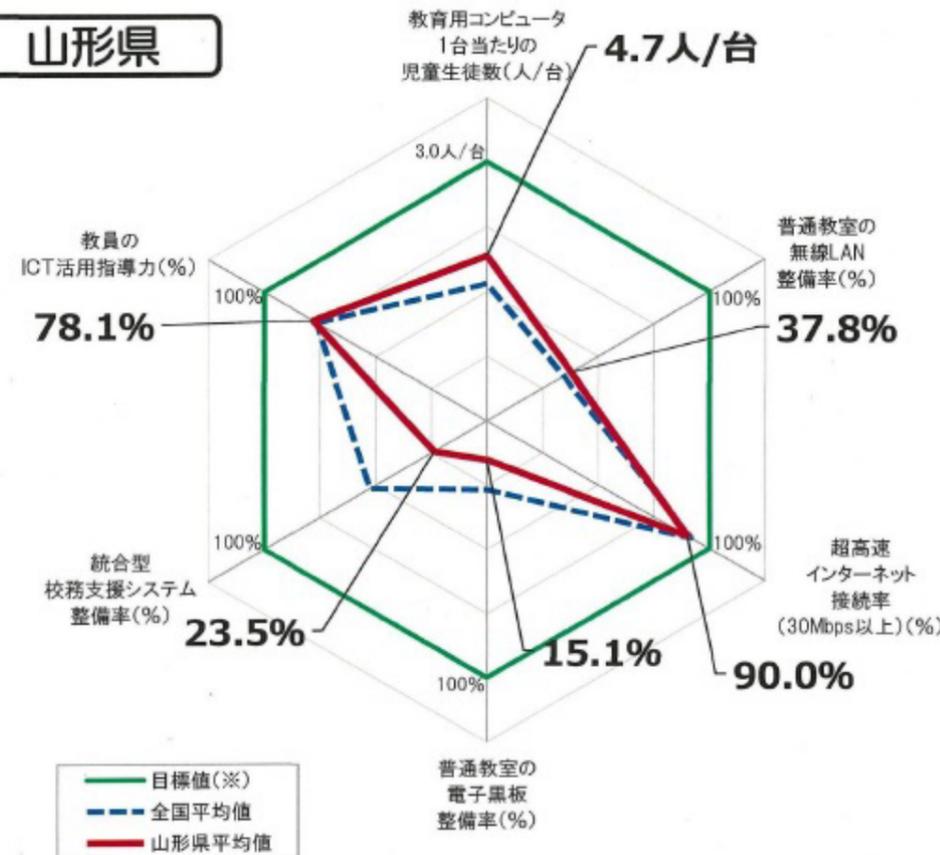


【H30調査(山形)小 82.5 中 66.6】

■ 当てはまる □ どちらかと言えば当てはまる

## ●教育の情報化の状況(山形県・全国)

### 山形県



指標(全学校種)	山形県平均値	全国平均値
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	4.7人/台	5.6人/台
普通教室の無線LAN整備率	37.8%	34.5%
超高速インターネット接続率(30Mbps以上)	90.0%	91.8%
普通教室の電子黒板整備率	15.1%	26.8%
統合型校務支援システム整備率	23.5%	52.5%
教員のICT活用指導力	78.1%	76.6%

※「全学校種」とは、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校のことをいう。

※ 上記グラフの目標値は、第3期教育振興基本計画(2018~2022年度)における目標値(「学習者用コンピュータ3クラスに1クラス分程度【授業展開に応じて必要な時に「1人1台環境」を可能とする環境の実現】(1日1コマ分程度を当面の目安)」「普通教室の無線LAN整備率100%」「超高速インターネット接続率(30Mbps以上)100%」「普通教室の電子黒板整備率100%」「統合型校務支援システム整備率100%」「教員のICT活用指導力100%」)。

●一定程度以上の英語力を有する生徒・教員の割合（山形県・全国）

（生徒）

中3生徒のうち英検3級以上の英語力を有すると思われる生徒の割合		高3生徒のうち英検準2級以上の英語力を有すると思われる生徒の割合	
全国(%)	山形県(%)	全国(%)	山形県(%)
40.7	33.9	39.3	44.8

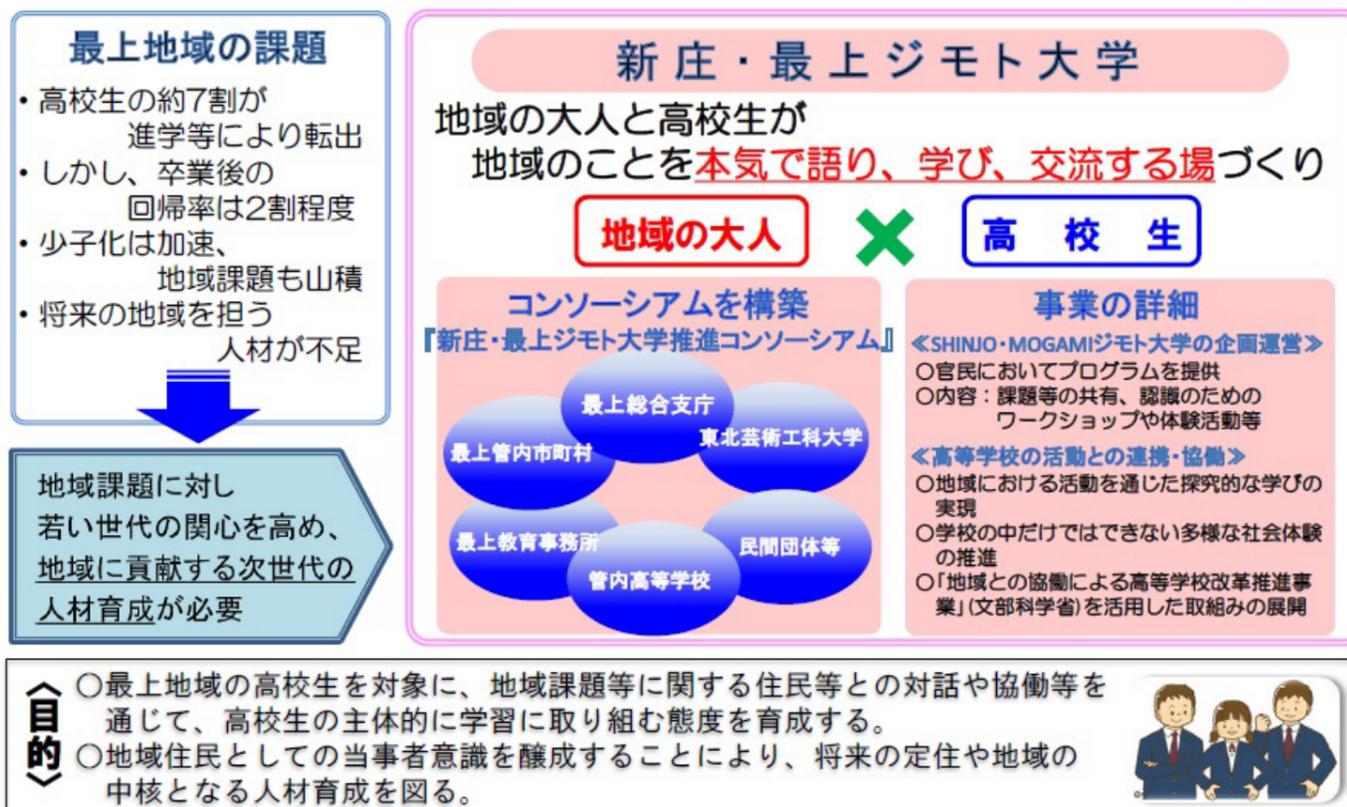
（教員）

中学校の英語担当教員のうち英検準1級以上の英語力を有する教員の割合		高校の英語担当教員のうち英検準1級以上の英語力を有する教員の割合	
全国(%)	山形県(%)	全国(%)	山形県(%)
33.6	24.8	65.4	59.0

【出典】H29 英語教育実施状況調査（文部科学省）

●ふるさと教育の取組み

（新庄・最上地元大学推進事業）



【出典】平成31年3月19日 新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム設立総会（山形県最上総合支庁）

●県内大学等在学者数

区分	学校名	学生数（H30.5.1現在）単位：人		
		男	女	計
大学	山形大学	5,792	3,196	8,988
	県立米沢栄養大学	9	172	181
	県立保健医療大学	108	360	468
	東北芸術工科大学	778	1,608	2,386
	東北公益文科大学	562	308	870
	東北文教大学	91	242	333
短期大学	米沢女子短期大学		567	567
	東北文教大学短期大学部	73	323	396
	羽陽学園短期大学	20	187	207
高等専門学校	鶴岡高等専門学校	714	133	847

【出典】H30 学校名鑑（山形県教育庁）

●専門職大学の設置に向けた検討

今後の本県における農林業分野の人材育成機関の姿(案)			
	専門職大学	農林大学校(専門学校)	山形大学農学部
修業年限	4年	2年	4年
教育内容	理論と実践を架橋する教育 【大学との違い】 実習等の重視 ・1,260時間以上/4年が実習等(卒業単位の概ね1/3以上) 【専門学校との違い】 ・理論にも裏付けられた実践力の育成 ・特定職種の専門性に止まらない、幅広い知識等の習得	農林業の実務に直接必要となる知識・技能の教育 ・概ね1,200時間/2年が実習(卒業単位の概ね1/3以上)	幅広い教養の教育と学術研究の成果に基づく専門教育 ※講義、演習、実験、実習、実技の内訳、科目の設定なし
企業内実習(インターンシップ)	600時間以上/4年が必修(20単位以上)	160時間/2年が必修(4単位)	任意に選択し、学習可能(30～60時間(1～2単位))
研究	農林業経営の発展に直結する研究 研究成果は学会等での発表に加え、地域への還元を重視	学生主体の研究発表のみ(大学に比べ理論面の深掘りが課題)	農林業全般に係る基礎的研究 研究成果は学会等での発表が主
卒業生の状況※1	・農林業経営者(幹部候補生を含む) ・森林組合、市町村の林務担当職員 ⇒ 地域のまとめ役としても期待	農林業者(61.7%) 農林業関係企業従事者(23.3%) 進学者(11.7%) 等	製造業等就職(74.5%) 進学者(18.6%) 就農(0.6%) 等
県内定着率※2	県内定着が大宗を占める	約92.0%	約19.2%

※ 専門職大学は、農林業分野で設置した場合の想定

※1 卒業生の状況は、平成30年3月卒の状況。農林大学校における「農林業関係企業」には、食品製造業を含めた農林業関連の企業及び団体を含む。

※2 農林大学校及び山形大学農学部における県内定着率については、それぞれの卒業生のうち進学者と研修者を除いた就職者当たりの割合を示す。

【出典】令和元年7月8日 第2回専門職大学基本構想策定委員会（山形県農林水産部）

# 1 (2) 生涯を通じた多様な学びの機会の提供

## ●リカレント教育

(県内企業・個人に対する意識調査 (山形大学実施))

実施年度	平成30年度
実施	山形大学男女共同参画推進室
内容	「男女共同参画社会を推進するための社会人の学び直しの教育(リカレント教育)について」
調査対象	山形市周辺の企業の人事担当者、山形市内の男女(個人)
回収数	企業106件、個人779件

(1) 企業アンケート結果		(2) 個人アンケート結果	
1. 社員のリカレント教育に関心があるか	74%が「関心がある」と回答	1. リカレント教育に関心があるか	関心がある 57%
2. リカレント教育によって身に付けてほしい力		教育を利用したい	14%
2.1 専門的な資格	70%	2. リカレント教育によって身に付けたい力やスキル	
2.2 経営・ビジネスに必要な知識や能力	56%	2.1 幅広い教養	57%
2.3 幅広い教養	46%	2.2 専門的な資格	45%
3. 利用したい教育機関		2.3 経営・ビジネスに必要な知識や能力	40%
3.1 民間教育訓練機関	54%	2.4 語学力	40%
3.2 公共職業訓練開発施設	44%	3. 利用したい教育機関	
3.3 大学	40%	3.1 大学	46%
3.4 大学院	14%	3.2 民間教育訓練機関	36%
4. リカレント教育を利用する際の問題点		3.3 公共職業能力開発施設	31%
4.1 学費の負担	71%	3.4 専修学校・専門学校	24%
4.2 十分な時間がない	71%	4. リカレント教育を利用する際の問題点	
4.3 学びたいカリキュラムがない	24%	4.1 学費の負担	82%
4.4 キャリアの断絶	22%	4.2 十分な時間がない	53%
4.5 処遇へ反映されない	21%	4.3 キャリアの断絶	26%
5. 山形大学のリカレント教育に期待したいこと		4.4 何を学んだらよいかわからない	24%
5.1 キャリアアップを目指したコース	60%	5. 山形大学のリカレント教育に期待したいこと	
5.2 土曜・夜間の開講	49%	5.1 土日・夜間の開講	49%
5.3 半年以下の短期履修コース	49%	5.2 インターネット授業	46%
		5.3 人生を豊かにする生涯教育コース	34%
		5.4 半年以下の短期履修コース	49%
		5.5 キャリアアップを目指したコース	34%

【出典】令和元年8月22日 令和元年度第1回国立大学法人山形大学顧問会議資料 (山形大学)

(過去1年間に職業訓練・啓発を行った人数と割合 (有業者)) (山形県・全国)

	山形県		全国	
	人数	割合	人数	割合
総数	202,000	34.9%	24,394,300	36.8%
15～24歳	15,000	41.2%	2,242,100	42.4%
25～34歳	35,400	40.2%	5,191,300	45.9%
35～44歳	47,300	39.1%	5,624,800	38.5%
45～54歳	44,200	36.2%	5,565,900	37.1%
55～64歳	39,500	32.2%	3,730,200	32.7%
65歳以上	20,600	23.0%	2,040,000	23.8%

【出典】総務省「H29 就業構造基本調査」

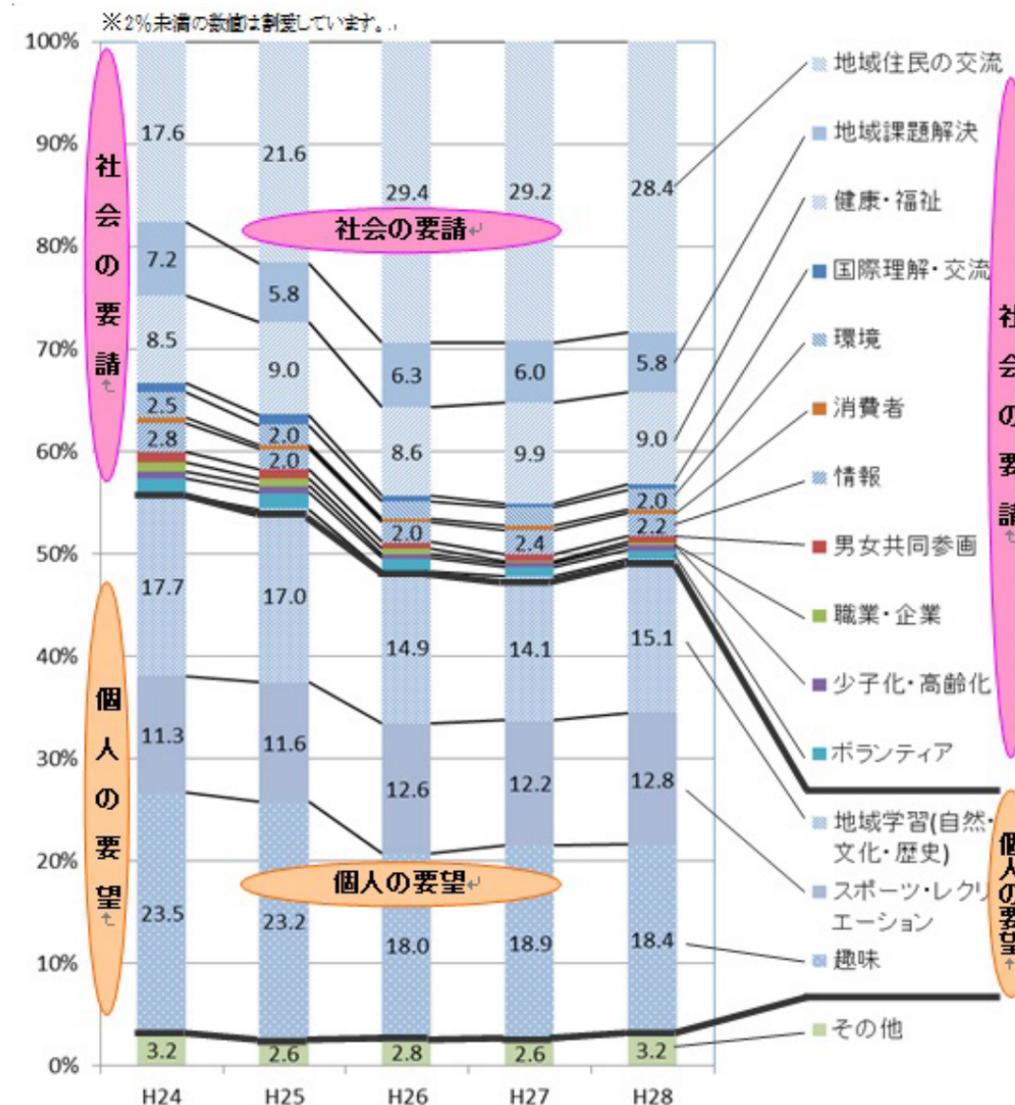
## ●生涯学習関係

(公民館等で開催されている各種事業・講座等への参加人数) (山形県)

年度	H25	H26	H27	H28	H29
成人・一般	144,623	273,871	313,156	308,621	304,964
女性のみ	13,563	20,342	18,165	15,660	15,963
高齢者のみ	30,508	35,426	37,197	39,474	42,956
青少年	116,224	105,302	127,229	110,313	119,394
家庭教育	38,992	33,645	51,328	42,923	40,484
計	343,910	468,586	547,075	516,991	523,761

【出典】山形県教育庁調べ (H31.4 現在)

(成人を対象とした学習事業 (学級・講座) の推移) (山形県)

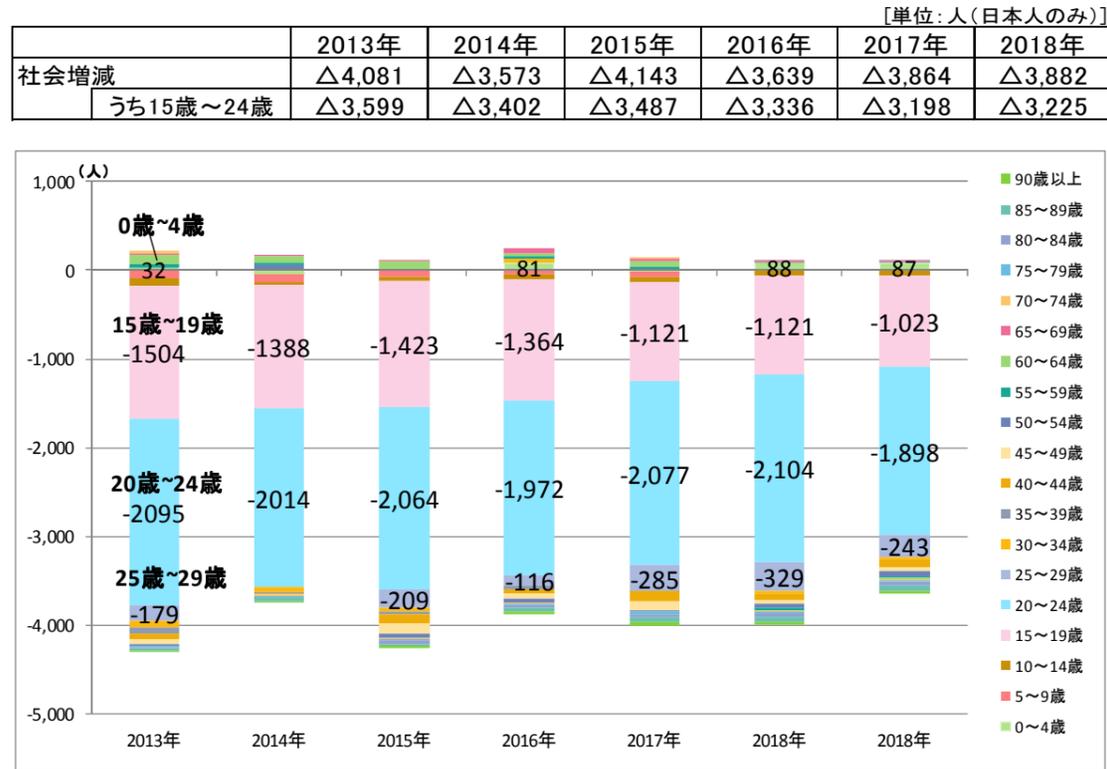


【出典】市町村における社会教育等事業調査 (山形県教育庁)

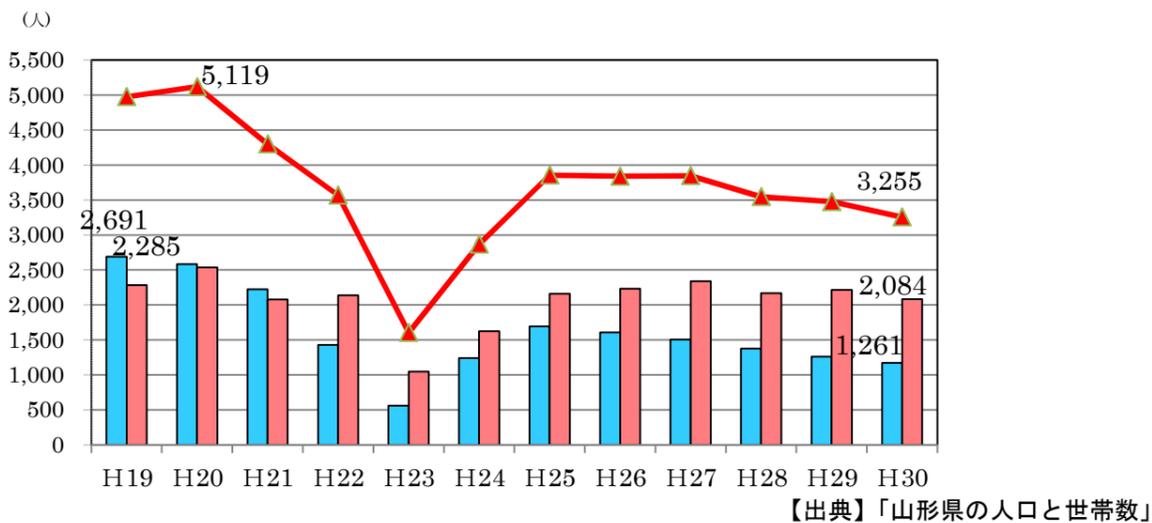
# 1 (3) 若者の定着・回帰の促進

## ●社会減少の状況

(社会増減の状況) (山形県)



(男女別の社会増減の状況) (山形県)



## ●大学等進学に関する状況

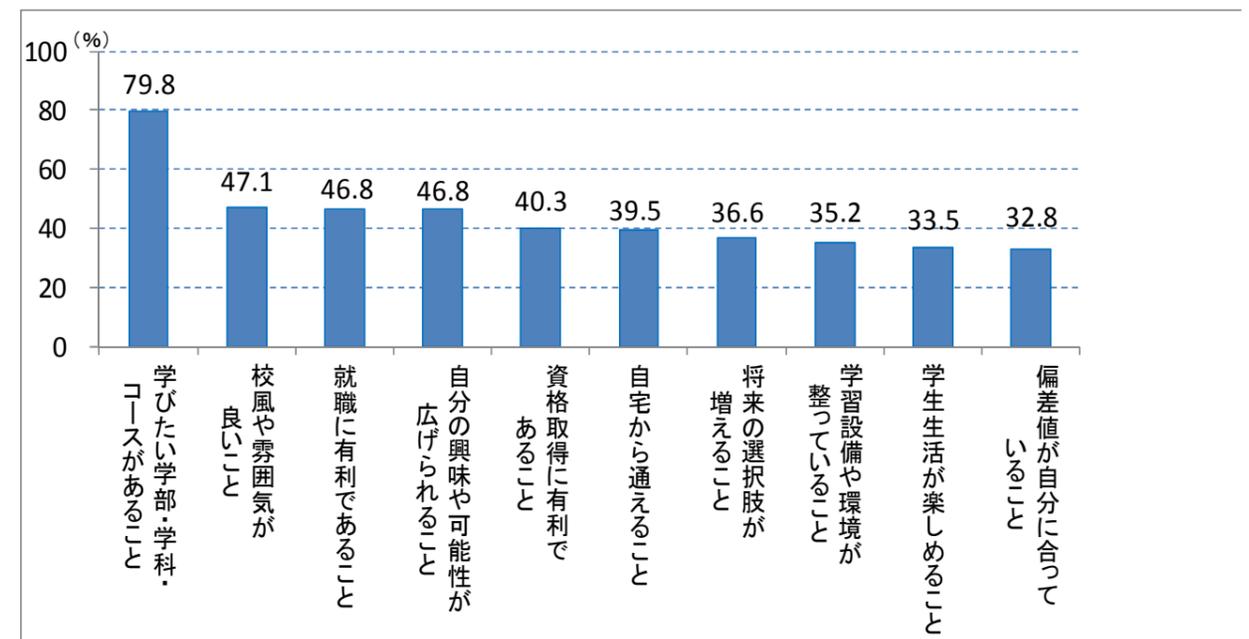
(大学等進学の状況) (山形県・全国)

(単位: 人、%)

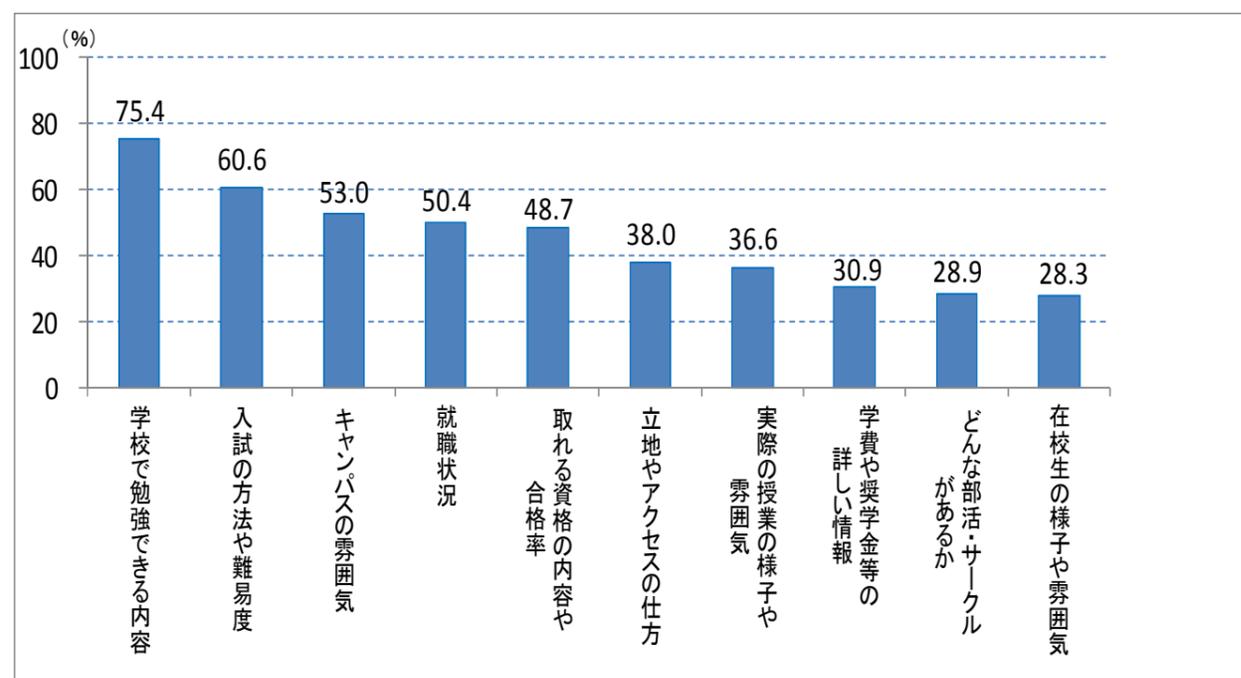
区分	卒業者数	大学等進学者数		大学等進学率		(全国) 大学等 進学率
		うち県内 進学者	県内 進学率			
平成22年3月	11,728	5,376	1,588	45.8	29.5	54.3
平成23年3月	11,254	5,215	1,469	46.3	28.2	53.9
平成24年3月	10,901	5,028	1,463	46.1	29.1	53.5
平成25年3月	11,176	4,957	1,320	44.4	26.6	53.2
平成26年3月	10,553	4,715	1,274	44.7	27.0	53.8
平成27年3月	10,632	4,794	1,302	45.1	27.2	54.5
平成28年3月	10,204	4,577	1,286	44.9	28.1	54.7
平成29年3月	10,073	4,566	1,265	45.3	27.7	54.7
平成30年3月	9,943	4,501	1,274	45.3	28.3	54.7
平成31年3月	9,849	4,390	1,352	44.6	30.8	54.7

【出典】文科省「学校基本調査」※平成31年3月は速報値

(高校生の進学先検討時の重視項目) (全国)



(高校生が進学検討の際、知りたかったこと) (全国)



【出典】(株)リクルートマーケティングパートナーズ「進学センサス 2019」

(大学生の就職状況) (山形県)

区分	卒業者数	就職者総数		
		うち県内就職者数	県内就職率	
平成23年3月	2,524	1,536	553	36.0%
平成24年3月	2,404	1,488	530	35.6%
平成25年3月	2,431	1,564	511	32.7%
平成26年3月	2,527	1,688	543	32.2%
平成27年3月	2,548	1,769	572	32.3%
平成28年3月	2,500	1,849	585	31.6%
平成29年3月	2,526	1,830	560	30.6%
平成30年3月	2,550	1,905	591	31.0%
平成31年3月	2,525	1,870	546	29.2%

【出典】「県学事文書課調」

## ●就職に関する状況

(高校生の就職状況) (山形県・全国)

区分	卒業者数	就職者総数		就職率		(全国)	
		うち県内就職者	県内就職率	就職率	県内就職率	就職率	県内就職率
平成22年3月	11,728	2,932	2,094	25.0	71.4	15.8	80.4
平成23年3月	11,254	2,908	2,201	25.8	75.7	16.3	81.0
平成24年3月	10,901	2,842	2,182	26.1	76.8	16.8	81.4
平成25年3月	11,176	3,155	2,442	28.2	77.4	17.0	82.0
平成26年3月	10,553	3,128	2,414	29.6	77.2	17.5	82.1
平成27年3月	10,632	3,134	2,443	29.5	78.0	17.8	81.6
平成28年3月	10,204	3,038	2,352	29.8	77.4	17.9	81.3
平成29年3月	10,073	2,891	2,250	28.7	77.8	17.8	81.2
平成30年3月	9,943	2,994	2,290	30.1	76.5	17.6	81.1
平成31年3月	9,849	2,933	2,285	29.8	77.9	17.7	80.6

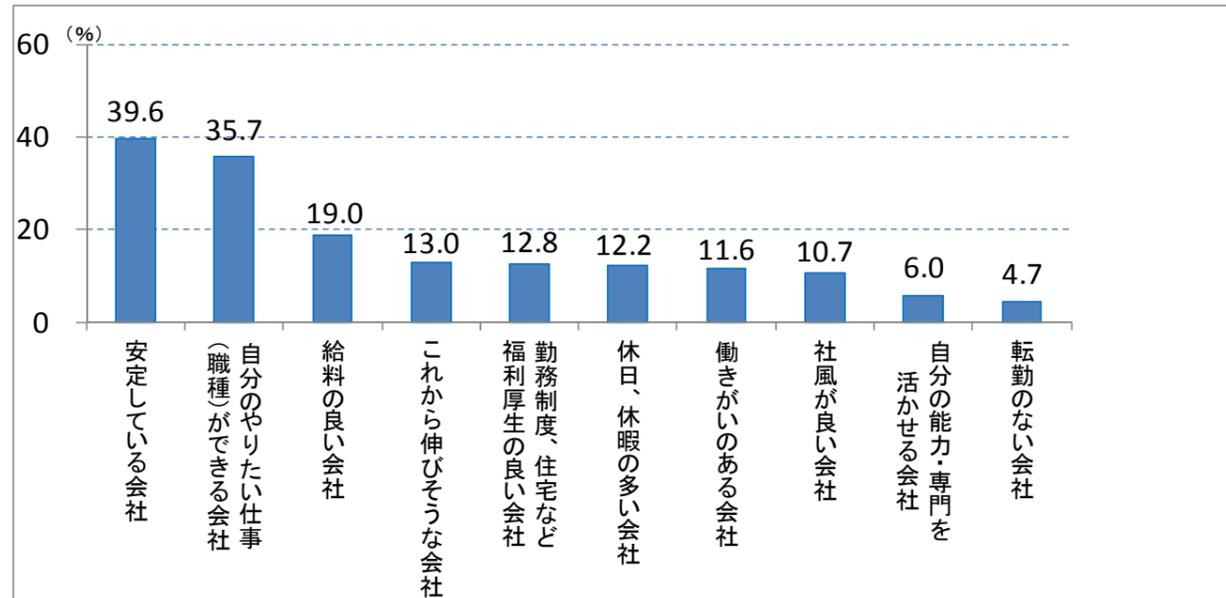
【出典】文科省「学校基本調査」※平成31年3月は速報値

(山形大学の就職状況) (H31.3)

	卒業者数	就職者数	就職状況内訳			
			県内	県内就職率	県外	
学部	人文学部	315	279	83	29.7%	196
	地域教育文化学部	239	199	69	34.7%	130
	理学部	178	93	19	20.4%	74
	医学部	192	56	20	35.7%	36
	工学部	609	264	41	15.5%	223
	農学部	154	116	14	12.1%	102
	計	1687	1007	246	24.4%	761
大学院(一部のみ)	理工学研究科(理学)	58	47	5	10.6%	42
	理工学研究科(工学)	240	218	11	5.0%	205
	有機材料システム研究科	86	82	3	3.7%	79
	農学研究科	33	25	3	12.0%	22

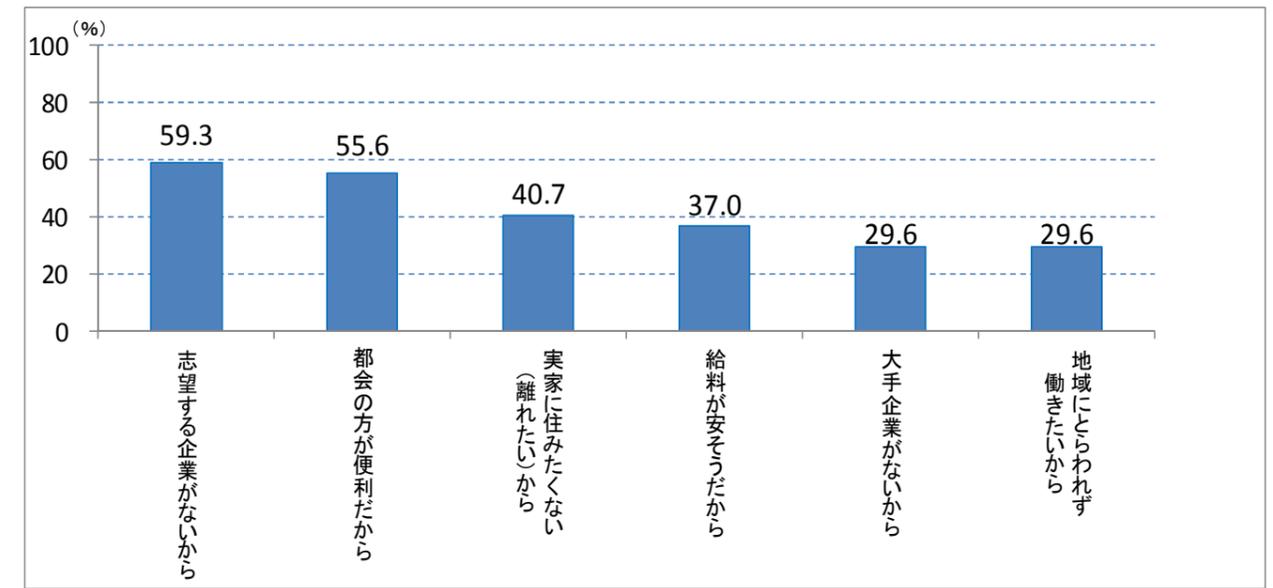
【出典】山形大学HPより

(大学生が就職希望企業を選択するポイント) (全国)



【出典】マイナビ「2020年卒大学生就職意識調査」

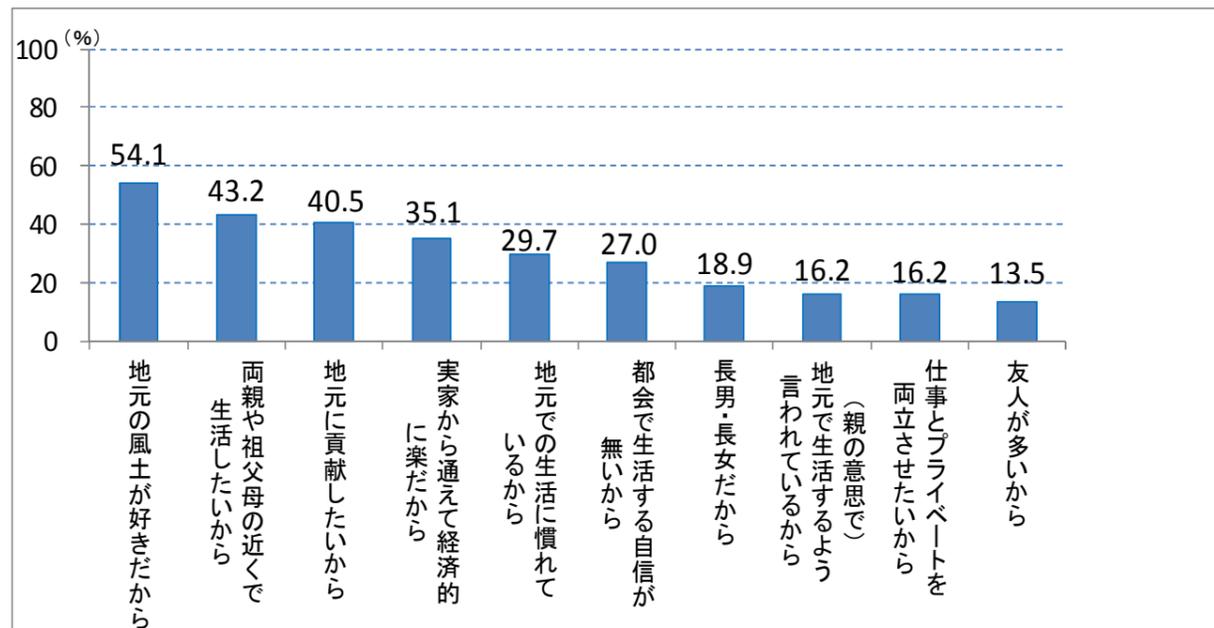
(県内就職を希望しない理由) (山形県)



【出典】マイナビ「2020年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査」

## ●県内就職に関する意識

(県内就職を希望する理由) (山形県)

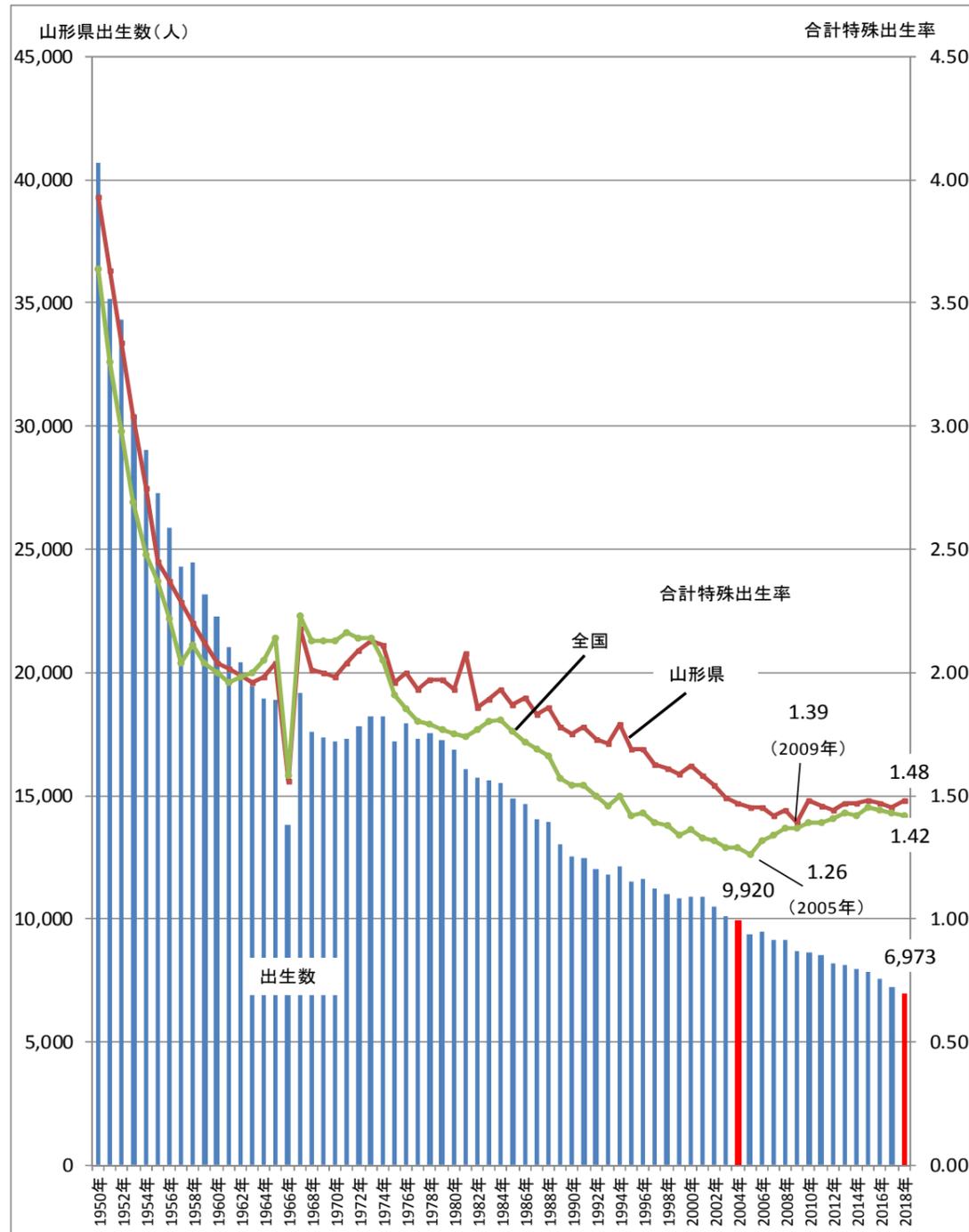


【出典】マイナビ「2020年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査」

# ■ 2 (1) 総合的な少子化対策の新展開

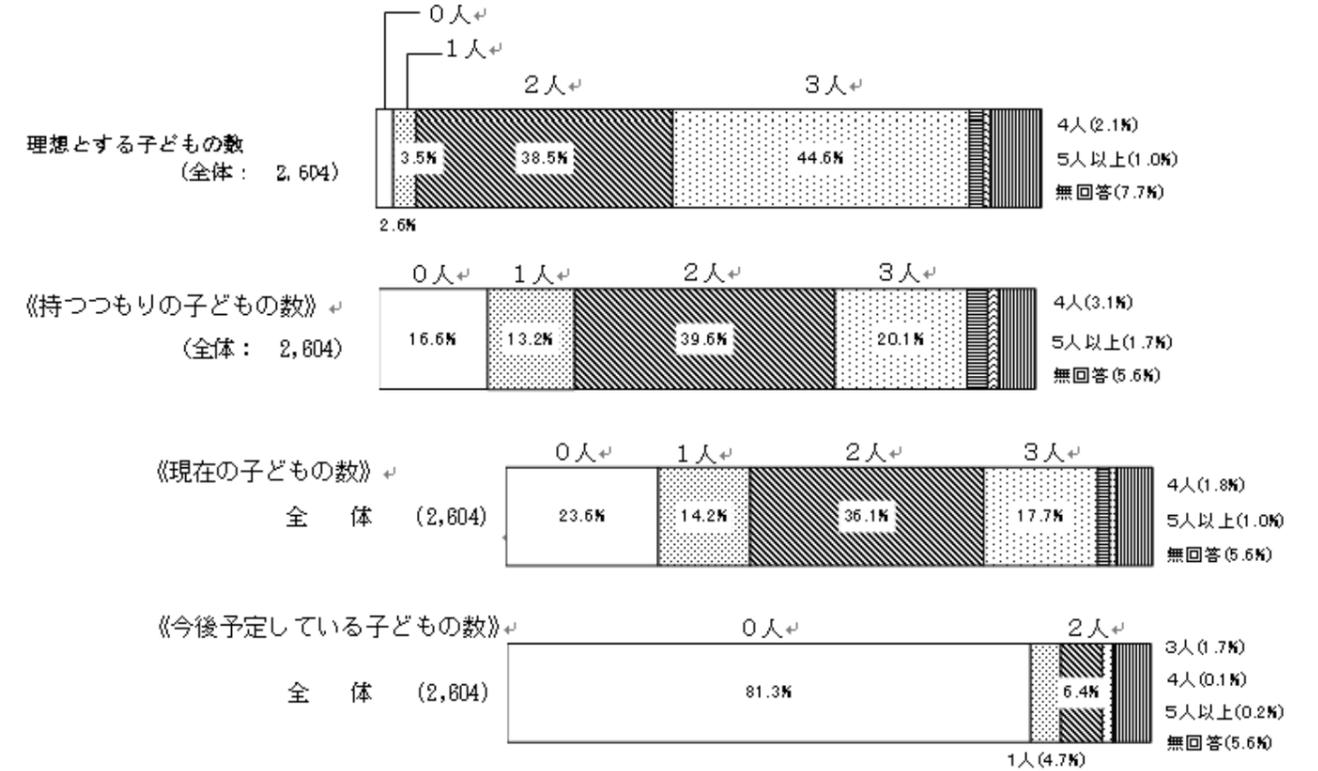
## ● 少子化の状況

(出生数及び合計特殊出生率の推移) (山形県・全国) ※出生数は山形県のみ



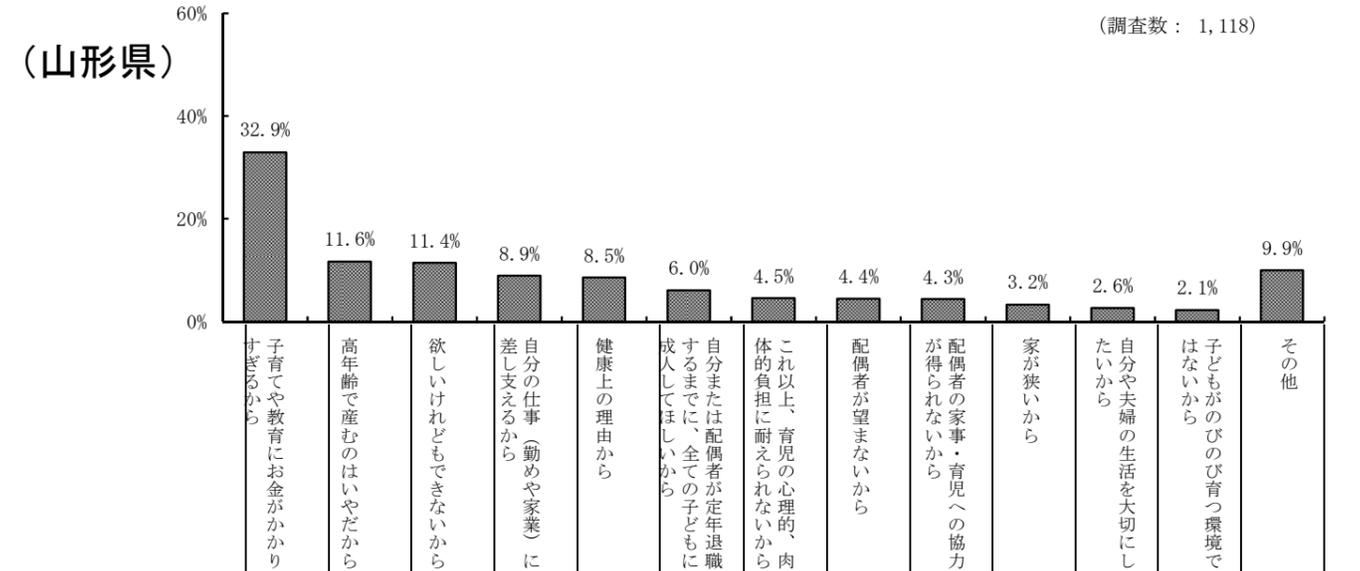
【出典】厚労省「人口動態統計」

(「理想とする子どもの数」と「持つつもりの子どもの数」) (山形県)



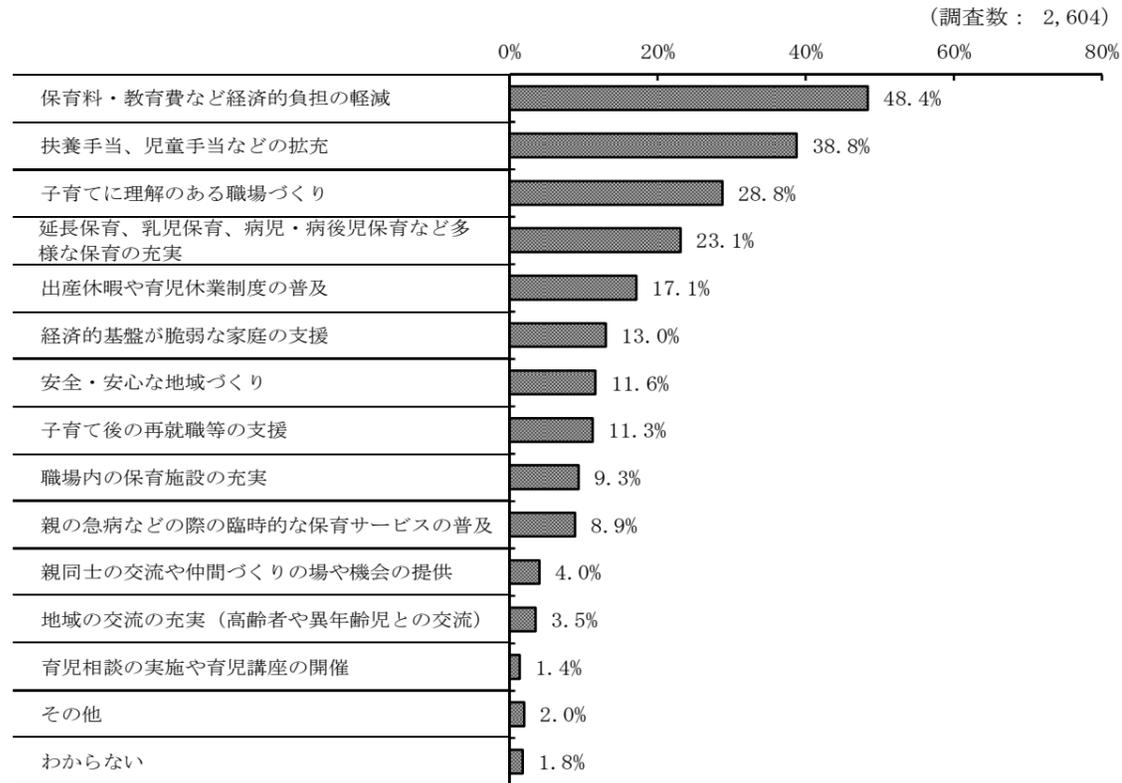
【出典】H30 県政アンケート調査 (山形県)

(「持つつもりの子どもの数」が「理想とする子どもの数」より少ない理由)



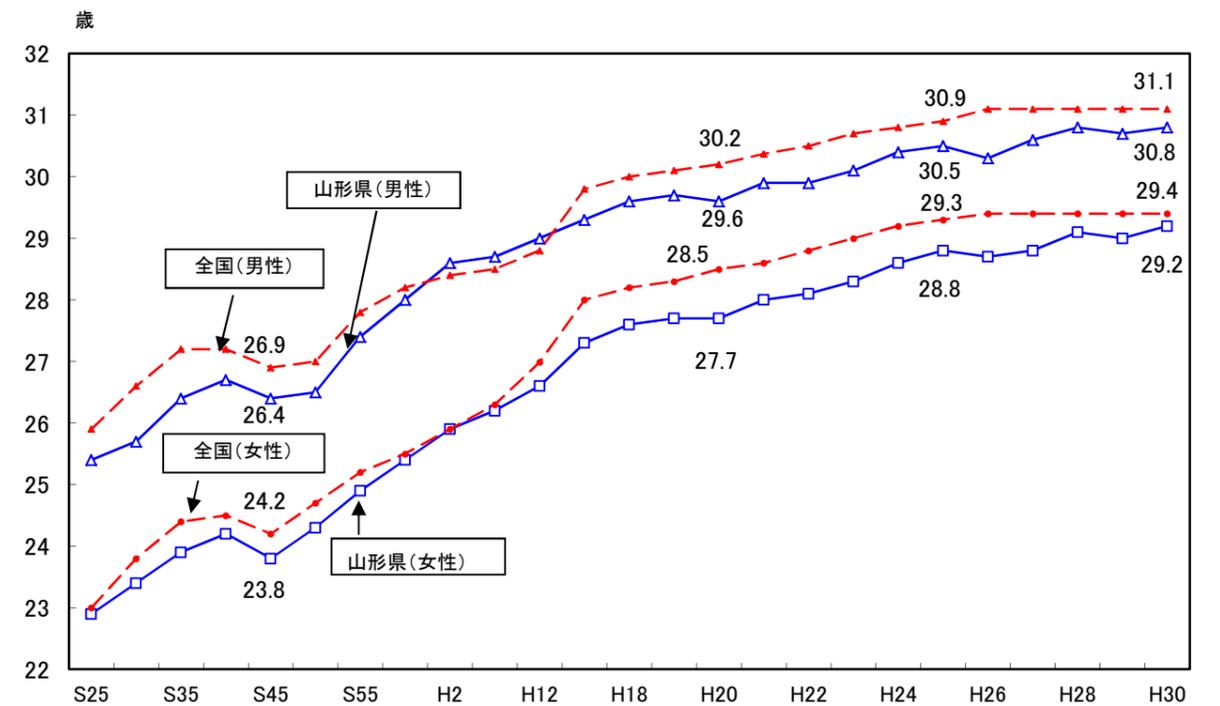
【出典】H30 県政アンケート調査 (山形県)

「子育てしやすい環境づくりに必要なこと」(山形県)



【出典】H30 県政アンケート調査(山形県)

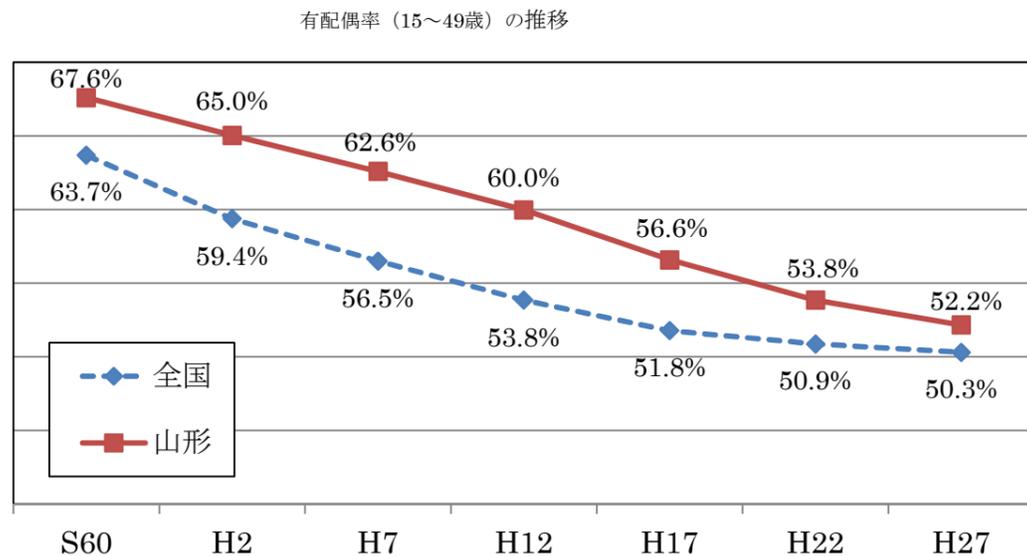
(平均初婚年齢の推移)(山形県・全国)



【出典】厚労省「人口動態統計」

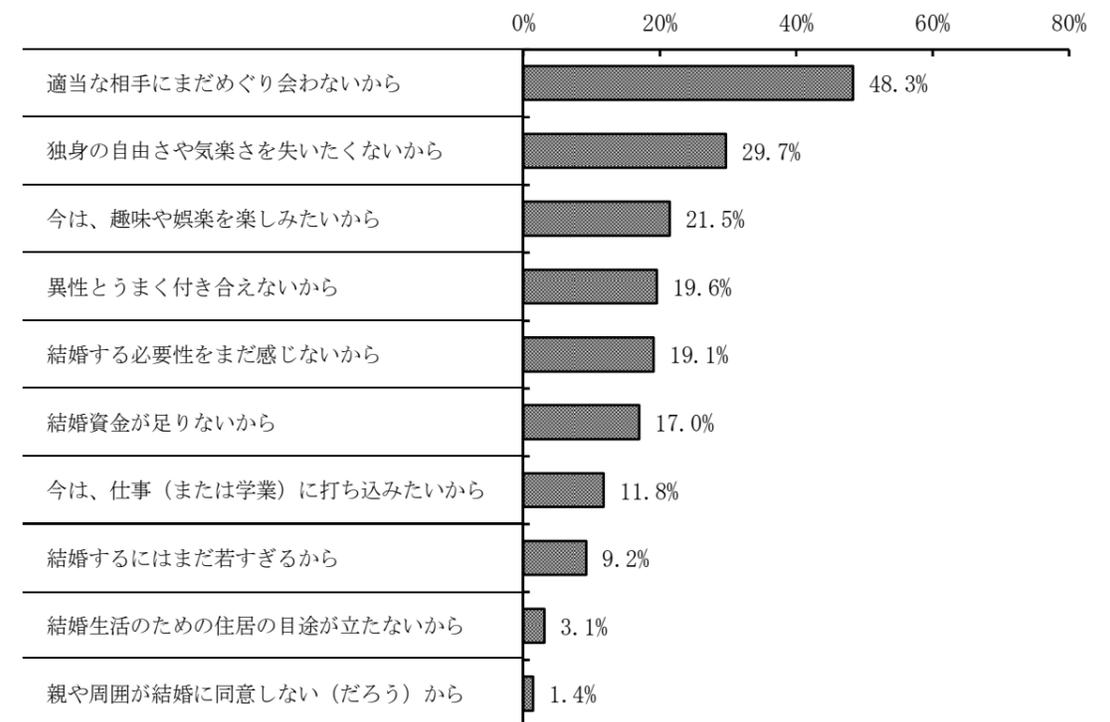
●結婚を取り巻く状況

(有配偶率の推移)(山形県・全国)



【出典】国勢調査

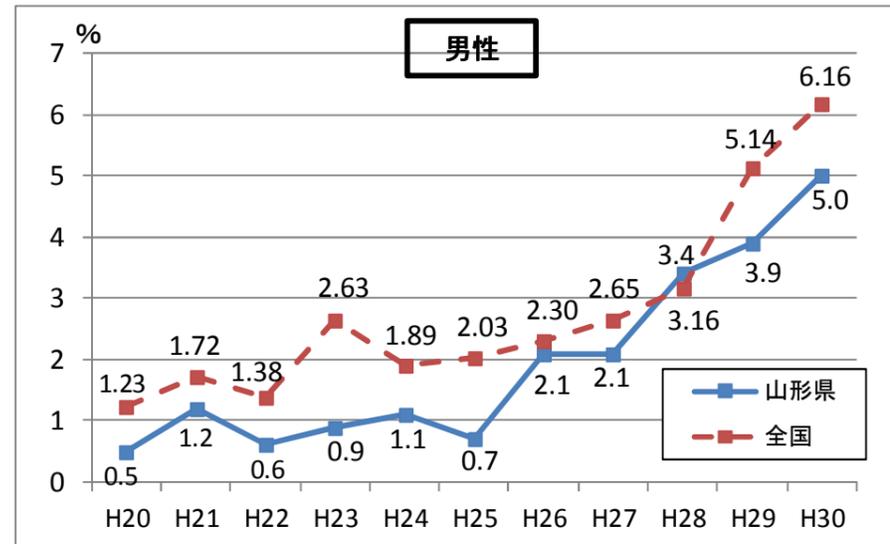
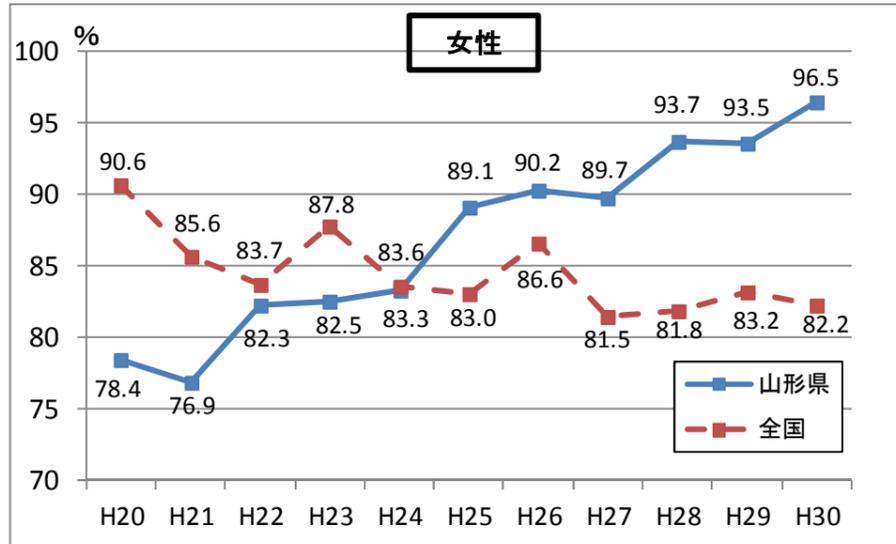
(「未婚者が独身にとどまっている理由」)(山形県)



【出典】H30 県政アンケート調査(山形県)

# ●妊娠・出産・子育て環境の状況

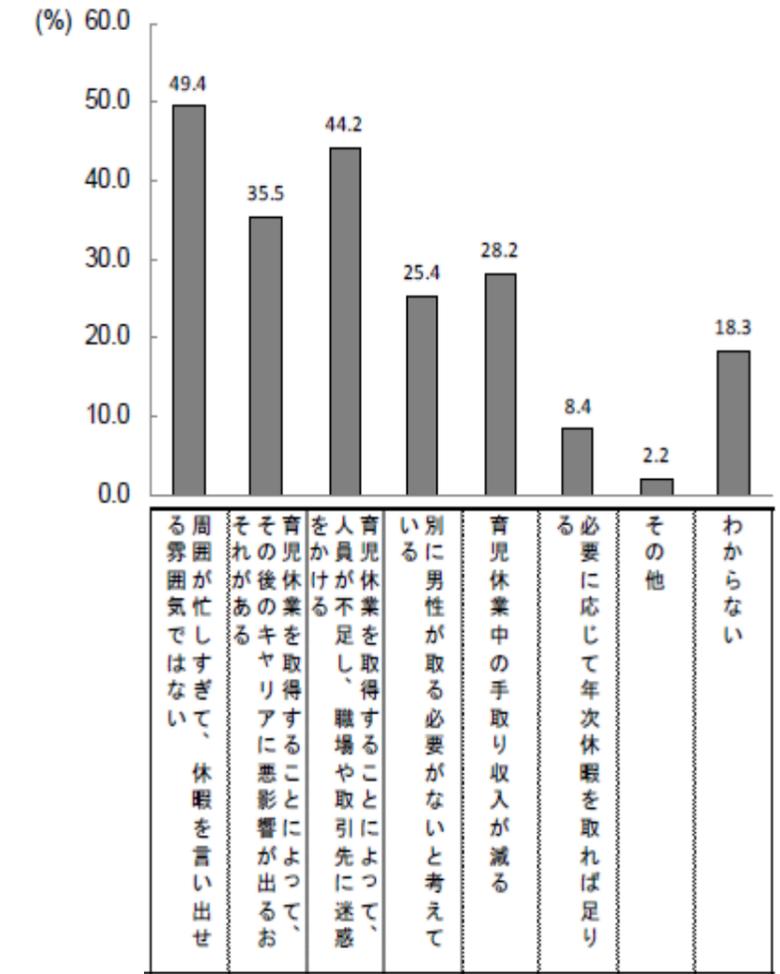
(育児休業取得率の推移) (山形県・全国)



【出典】山形県：山形県労働条件等実態調査、全国：雇用均等基本調査 ※H30は速報値

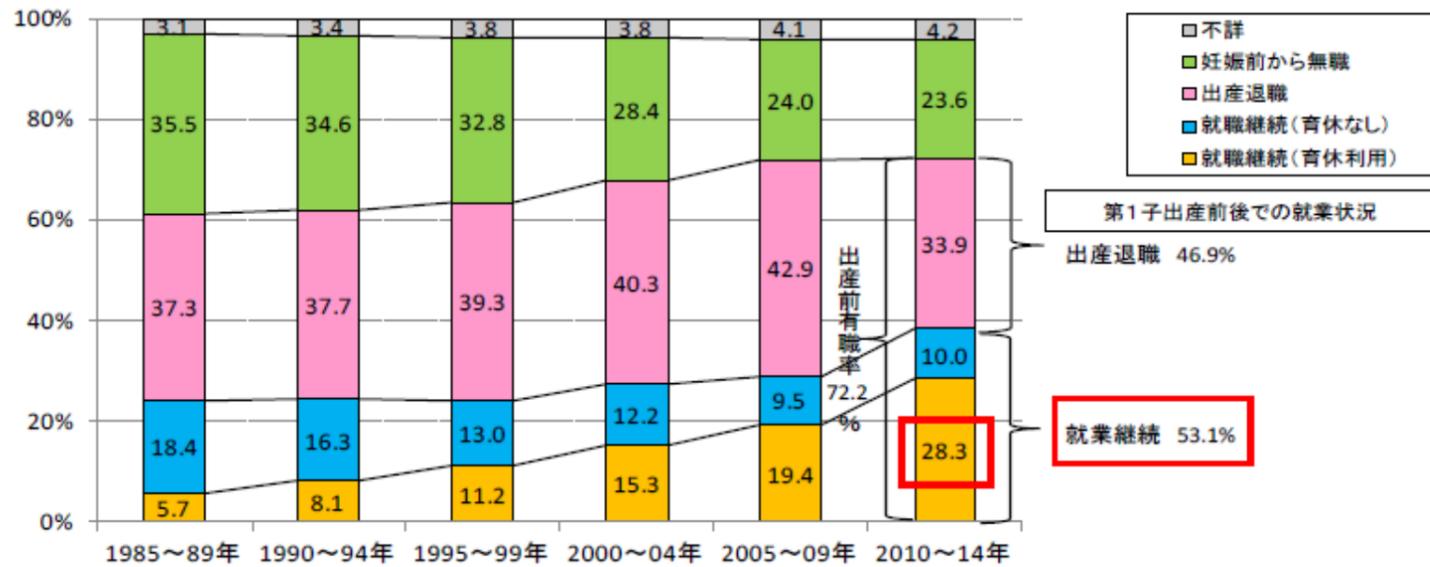
(男性の育児休業取得率が低い理由)

(全国)



【出典】内閣府「少子化社会対策に関する意識調査」(H30)

(第1子出産前後の女性の継続就業率) (全国)

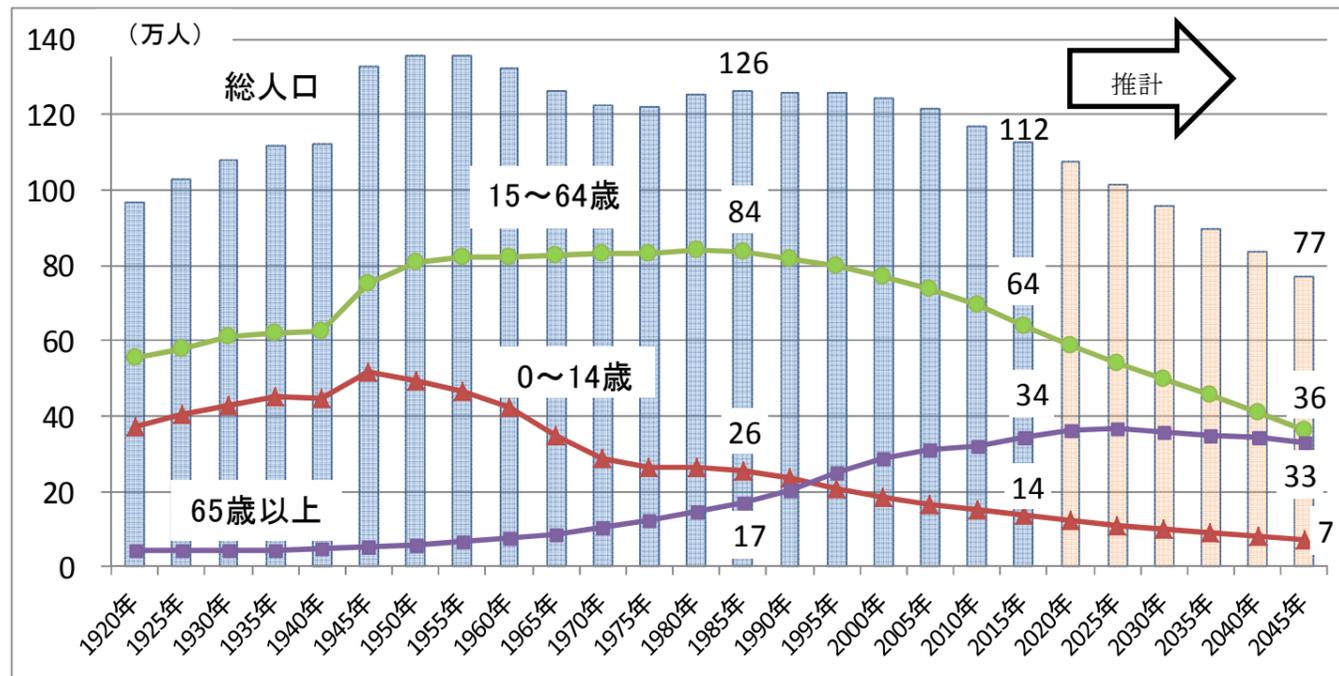


(備考)  
 1. 国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)」(2016年)。(赤枠部分については内閣府男女共同参画局にて記入。以下同じ。)  
 2. 第1子が1歳以上15歳未満の子を持つ初婚どうし夫婦について集計。  
 3. 出産前後の就業経歴  
 就業継続(育休利用) - 妊娠判明時就業~育児休業取得~子ども1歳時就業  
 就業継続(育休なし) - 妊娠判明時就業~育児休業取得なし~子ども1歳時就業  
 出産退職 - 妊娠判明時就業~子ども1歳時無職  
 妊娠前から無職 - 妊娠判明時無職~子ども1歳時無職

【出典】内閣府男女共同参画局資料

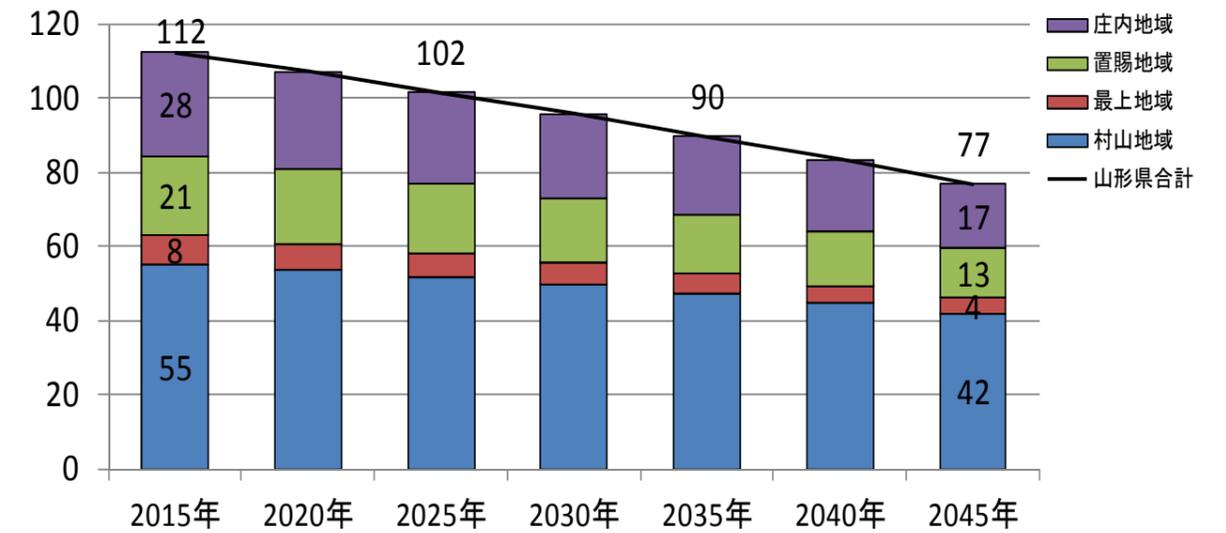
# (参考) 人口推計

(総人口の推移)



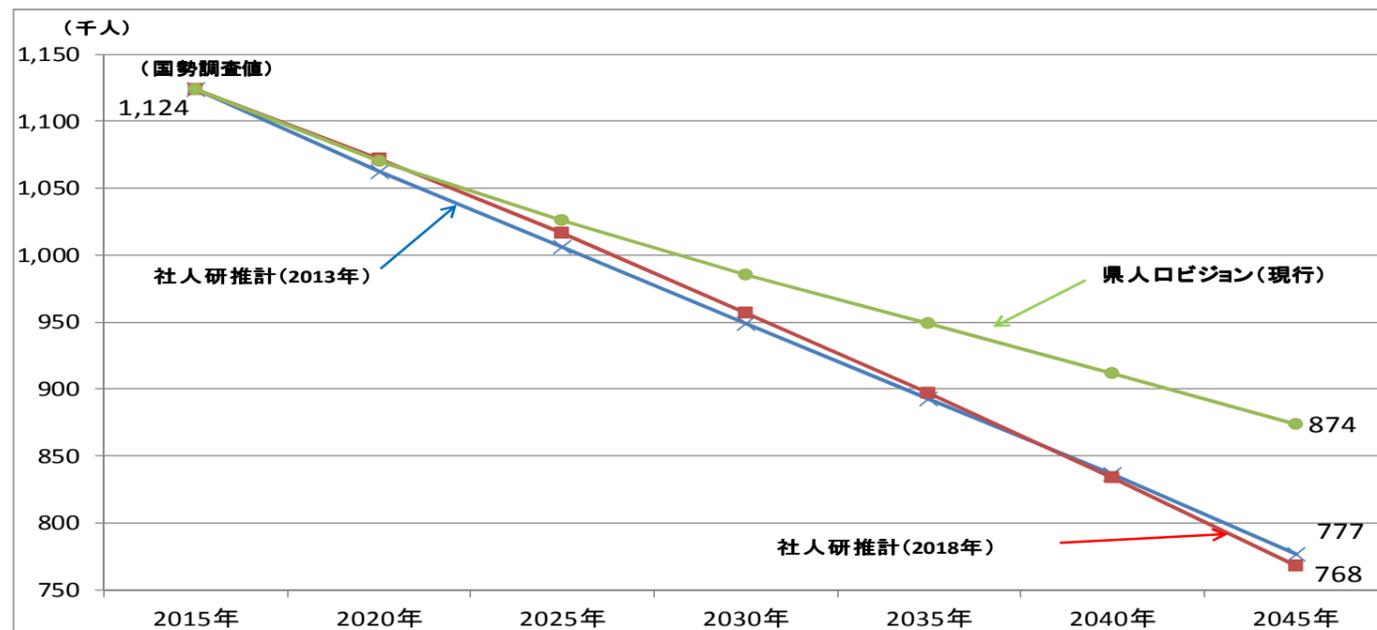
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(4地域別の人口推計)



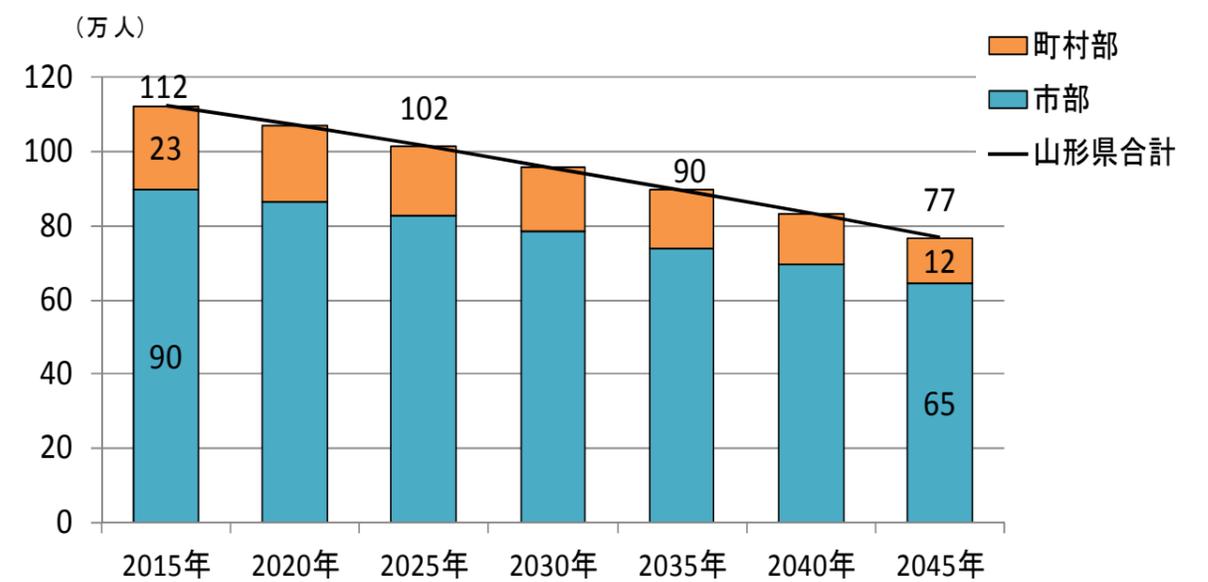
【出典】総務省「国勢調査」、内閣府提供データ

(総人口の将来見通し)



【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、山形県人口ビジョン (2015年10月)

(市部、町村部の人口推計)



【出典】総務省「国勢調査」、内閣府提供データ